

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 千464 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 加藤大豊

見つけよう 奉仕の新生面
Discover a New World of Service

No.29

1984-85年度 RI 会長 カルロス・カンセコ

第123回例会 昭和60年1月29日 (火) 曇

◇ “我等の生業”

◇出席報告

会員 54 名 出席 39 名

出席率 72.22%

前回 1月22日 (修正出席率) 98.15 %
make up

青山君(1/19守山), 深見君(1/26守山), 橋本君(1/25大阪城南), 林君(1/26守山), 堀江君(1/18港), 河合君(1/23名北), 小池君(1/26守山), 松居君(1/28空港), 大口君(1/24瑞穂), 斎藤君(1/26守山), 笹野君(1/25港), 鈴木(編)君(1/18北), 鈴木(田)君(1/25北), 鈴木(田)君(1/25北), 谷口君(1/21東)

◇ビジター紹介 7名

◇お誕生日祝福

加藤(大)夫人(2/1), 矢野夫人(2/4)

◇ニコボックス

谷口君(新入会員として野村さんをお迎えして), 松居君(ホームクラブ御無沙汰致しておりました), 菅原君(長野スキーバス事故現場を通して, スキーから無事帰りました。日本福祉大の亡くなられた学生さんの御冥福を御祈りして), 矢野君(エジプトのザガジグ大学との学術文化交流協定の締結を祝って) 大口君, 久保田君(なんとなく)

◇谷口幹事報告

1. 本日例会終了後, 理事役員会を行ないますので理事役員の方は橋の間にお集まり下さい。
2. 次週例会は4RC合同例会の為, 4日(月)ナゴヤキャッスルにて開催致しますのでお間違いのないよう御出席下さい。
3. ロータリーの友1月号が来ておりますので, お帰りの際お持ち下さい。

◇菅原国際委員長報告

既にご案内済みですが, 来たる5月26日~5

月29日国際大会。カンサスシティーが開催されます。個々にはご返事を頂いておりますが、できれば5~6名で参加したいと思っております。事務局より最終ご案内を致しますので、明確にご返事下さい。

◇加藤大豊会長挨拶

沖縄は、日本一の長寿県。その長寿を支えている一つが豚とサツマイモである。沖縄には、太古から極小型の野生豚はいたようだが、養豚が一般に普及したのは14世紀以降である。切っ掛けは中国の王朝が近隣の小国にプレッシャーをかける為に派遣したデモンストレーション使節。琉球の国王が代わる度に御冠船と称する小艦隊を仕立てて来球し、“汝を琉球国中山王に封ずる”という中国皇帝の国書を手渡した。一行はその後半年から十か月近く首里に滞在し、物見遊山や酒宴などで羽を伸ばしたが、総勢数百人という大部隊の為、資源に乏しい琉球国としては一行の食事を賄うだけでも大変な苦勞だった。

この為、中国本土から種豚を輸入して養豚を奨励し、中国料理のコックを招いて料理の勉強にも乗り出したが、養豚の場合決め手となるのは餌で、人間の食べるものにさえ事欠く琉球では、始めのうち、この餌不足が大きく足を引張った。ところが1605年これも中国から沖縄の風土にうってつけのサツマイモが伝わった。それまで農民は、僅かばかりの米を税として取り上げられ、もっぱら麦や粟ばかりを食べていたが、サツマイモの伝来で主食が確保されるとともに、その皮が豚にとって格好の餌となった。それに、名物の台風がサツマイモの葉を吹き千切っても、地中には確実に根菜としての芋が残った。1700年頃から2毛作も出来るようになり、この頃から豚肉とサツマイモという類い希な食生活パターンが確立するのである。事実、この豚肉とサツ

マイモという組み合わせは、特に豚肉がビタミンB類を多く含む事によって理想的な栄養食となる。戦前、この基本食によって育った老人達は、今80才から90才、更に百才を上回る長寿に恵まれている。ここでは触れないが、かつて沖縄での豚の利用は徹底的なもので内臓は勿論、肉・皮・ラード。豚足とあらゆる部分を功みに生活に取り込む知恵を身につけ、それが今日の長寿王国への遠因となったのである。

長寿王国、沖縄を築いた愛しの豚とサツマ芋のお話を致しまして会長挨拶とします。

◆講演

“生命工学(バイオテクノロジー)とは何か”

愛知県がんセンター生化学室長

理学博士 松影 昭夫氏(紹介 青山君)



エレクトロニクスやファインセラミックと並んで先端技術として脚光を浴びている生命工学 いわゆるバイオは、マスコミに喧伝される割にはまだ商品化されたものなく、大方の

人には、気にはなりつつも具体的なイメージで捕え難いのではないだろうか。バイオを正しく知るためには、生物の営み、特に遺伝のメカニズムとこれに基づいて開発された新技術の原理の基本を理解することが大事である。生物の全ての構造と機能は、遺伝子(物質としてはDNA)によって支配されている。これは複製され全ての細胞そして子孫へと伝達されると共に、設計図として機能し、1万種以上ものタンパク質の構造をきめている。タンパク質のあるものは筋肉のように生体の構成成分となり、多くのものは酵素として、生命維持に必要な脂質、骨、エネルギー等をつくり出す働きを持つ。このような多様な生物の働きを自由に取り出し、また組み合わせて有効に利用することをバイオは可能にしつつある。

具体的にはまず目的のタンパク質を支配する遺伝子のみをとり出し、その生産物を大量につくり出す遺伝子クローニング技術があり、インシュリンなどで実用化されつつある。第2に1つの細胞からDNAを抽出して別の細胞に注入し、遺伝的性質を導入する方法があり、ヒトのがん遺伝子の発見をもたらした、また家畜、植物の改良、遺伝病の治療にも利用できると期待されている。第3の方法は細胞融合法であって、遺伝的性質の異なる2種の細胞を融合することによって、両者の長所を

もつ細胞をつくることのできる。増殖能をもたない抗体産生細胞と無限に増殖を続けるがん細胞の融合から生まれたハイブリドーマ法は、均一な抗体の大量産生を可能にし、白血病の診断や抗体に制がん剤をつけた「ミサイル療法」の開発に役立っている。

現在米国を中心に、生命工学の成果の一部は商品化の一手手前まできている。大きく立遅れている我が国でも、生命工学の基礎と開発を結びつける研究体制を早急に整備することが必要であろう。

◆ガバナー・ノミニー事務所開設ご案内◆

開設日 1985年1月7日(月)
 住所 〒460 名古屋市中区4-1-1
 中日ビル7F 727号室
 電話 (052) 263-7241
 執務時間 平日: A.M. 10:00~P.M. 16:00
 (土、日曜、祝日は休ませて頂きます。)

尚、1985年7月1日より上記事務所が、国際ロータリー第260地区ガバナー事務所となりますのでご了承下さい。

◆1月度理事役員会議題

1. 合同例会(2月4日)の件
2. 年末会員家族懇親会の件
3. 1984~85年度上半期決算報告の件
4. 次年度委員選出時期の件
5. 次年度親睦活動委員の件
6. 加藤正義君長期欠席の件

◆お知らせ

アフリカ難民毛布寄贈の為、31名の方々のご好意により64枚の毛布が集められました。笹野運輸さんのご協力を得、去る25日名古屋市役所へ届けられました。皆様のご協力に感謝致します。

——— 第25回 ゴルフ会成績 ———
 (藤岡C.C. 1/17(木))

RANK	NAME	OUT	IN	G	Hcp	NET
優勝	谷口 暢宏	47	49	96	15	81
準優勝	青山 敏郎	54	52	106	25	81
3位	木全 厘二	44	50	94	12	82
4位	水野 賀統	45	47	92	10	82
5位	堀江 宏輝	48	45	93	10	83
B	B 小坂井盛雄	58	53	111	18	93

(参加者17名)

——— 第3回 夫人ゴルフ会成績 ———
 (愛知C.C. 1/17(木))

RANK	NAME	OUT	IN	G	Hcp	NET
優勝	黒須アイ子	60	59	119	46	73
準優勝	竹内 逸子	59	54	113	36	77
3位	成田真砂子	64	68	132	46	86

(参加者7名)

※次回のゴルフ会は2月14日(木)、愛知C.C.で予定されておりますので、奮ってご参加下さい。(ゴルフ会幹事・永井)